
目次

.....

【1】 --- 教員コラム 18 弾 第 4 回「京都の風景と読書が織りなす、時空を超えた旅」
心臓血管外科／小田晋一郎

.....

【2】 --- 9/20 の特別講演会は満員御礼。10 月・11 月にも予定しています
< 広小路キャンパス活性化プロジェクト >

.....

【3】 --- 8/30(金)～10/27(日)地下書架工事のため、ご不便をおかけします

.....

【4】 --- < 警告 > 医書.jp の大量ダウンロードについて

.....

[Book Review] ・ ・ ・ 編集後記にかえて

【1】 --- 教員コラム 18 弾 第 4 回

「京都の風景と読書が織りなす、時空を超えた旅」

心臓血管外科／小田晋一郎

.....

京都は、その長い歴史と豊かな文化的遺産で知られる都市である。古都の街並みを歩くたびに、過去の時代の空気を感じることができる。そんな京都での読書は、ただの読書とは一線を画す特別な体験である。私には特に印象深い読書体験がある。

司馬遼太郎の『世に棲む日日』は、幕末の激動期を描いた名作である。その中でも特に心に残るのは「蛤御門の変」の場面である。この出来事は 1864 年に起こり、長州藩と公武合体派の戦いが京都御所で起こり、なかでも蛤御門での攻防が有名である。私はこの本を片手に、実際に蛤御門を訪れた。蛤御門は現在も京都御所の一部として残されており、当時の弾丸の穴が今も生々しく残っている。その穴を見ると、ここで繰り広げられた激しい戦闘がありありと想像される。当時の戦闘跡を目の当たりにしながら、その場面を描いた歴史小説を読むと、まるで自分がその場に立ち会っているかのような感覚に包まれる。現実の風景と物語の描写が重なり合い、目の前に広がる情景が一層生き生きと蘇る。過去の瞬間を体感して

いるような臨場感が全身を駆け巡る。歴史が一つの物語として立ち上がり、時間を超えて心を揺さぶるこの体験は、まさに言葉では言い尽くせないほどの感動をもたらす。

このように、歴史小説をその舞台となった場所で読む体験は、一種の贅沢とも言える。文字が現実の風景と結びつくことで、物語が生き生きとしたものになり、心に深く刻まれる。歴史的な場所での読書は、単なる知識の吸収にとどまらず、その場所の空気を感じ、時間を超えた対話を楽しむことができる。

京都は、こうした体験を得るのに最適な都市である。歴史小説好きにはなんと贅沢な都市であろう。これからも、この歴史ある京都で、まさにその場所で読書をする事でロマンを感じていきたい。

京都府立医科大学附属図書館にて脱稿

※過去の教員コラムは、[こちら](#)です。

【2】 --- 9/20 の特別講演会は満員御礼。10月・11月にも予定しています

<広小路キャンパス活性化プロジェクト>

9/20(金) 建築家 安藤忠雄氏特別講演会「人生百年 元気に生きる」については申込者数が定員に達したため、受付を終了いたしました。たくさんのお申し込み、ありがとうございました。ご応募いただいた方に、順次、聴講券をメールにて送信いたします。

広小路キャンパス活性化プロジェクトは、今後も特別講演会・対談を予定しています。

10/21(月)15:00 作家・コラムニスト [泉麻人氏](#)「京のバス旅となつかしい風景」

11/7(金)15:00 小説家 [北村薫氏](#) & 翻訳家・演劇評論家 [松岡和子氏](#)

「シェイクスピアと私」

応募方法など詳しくは、今後、[京都広小路通信ホームページ](#)や [SNS](#) 等でお知らせいたします。どうぞお楽しみに。

【3】 --- 8/30(金)~10/27(日)地下書架工事のため、ご不便をおかけします

附属図書館 1 階にラーニングコモンズを新設するため、地下に電動書架を設置します。工事や移動の関連で、当分の間、図書館の一部と和雑誌/洋雑誌の使用を制限します。騒音や振動など、皆様にご不便とご迷惑をおかけしますが、ご理解、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

8/30(金)～9/24(火) セミナー室 2 と 1 階閲覧室南側の使用不可

9/10(火)～9/12(木)、10/7(月)～10/9(水) 地階全面立入禁止

10/27(日) 資料移転完了

対象：和雑誌(1980 年～)と洋雑誌(1990 年～)

都合により、予定を変更する場合がございます。

【4】 --- <警告> 医書.jp の大量ダウンロードについて

.....

8/23(金)に全学メールでもお知らせしましたが、現在トライアル中の「医書.jp」で短時間に大量ダウンロードが行われているとの指摘が、提供元よりありました。

20 分間に文献 150 回など、大量のログが検出され、本学からのアクセスが一定時間停止されました。復活後も、2 度にわたり大量アクセスが繰り返されました。

このような利用が続きますとトライアルが打ち切られます。全学メール後、提供元から不正アクセスの報告はありませんが、どうぞ皆様の適切なご利用をお願いします。

=====

「medicina」「画像診断」「Hospitalist」「臨床放射線」など国内出版社 19 社
127 誌の電子ジャーナルをトライアルで提供中。※学内限定

◆アクセス先：<https://webview.isho.jp/journal>

◆トライアル期間：2024/10/10 まで

[Book Review]

.....

ガブリエル・ゼヴィン著 小尾美佐訳 『書店主フィクリーのものがたり』
(ハヤカワ epi 文庫 2017 年)

アリス島の唯一の書店「アイランドブックス」の書店主フィクリー。書店を訪れた出版社の営業アメリカ。ある日、貴重な本が盗まれる。数日後、書店に置き去りにされた少女マヤ。偏屈なフィクリーは、マヤを育てるうちに変わっていく。

各章のタイトルが短編小説になっていて簡単に本の紹介がなされている。本好きの人に おすすめ。ものがたりに引き込まれ、第一部は驚きの結末となり、第二部へと進む。いろいろなことがつながり穏やかに終わりへと向かう。こんなハートウォーミングも良いものだ。(Y.N.) (京都府立図書館所蔵「[K-Libnet](#)」で貸出が可能です)

KPUM Library Booklog : <https://booklog.jp/users/kpumlib>

この本のページ : <https://booklog.jp/item/1/4151200932>

.....

図書館メール News525 号 2024.8.29 発行 (隔週木曜日発行)

編集・発行：京都府立医科大学附属図書館

library@koto.kpu-m.ac.jp

<https://www.kpu-m.ac.jp/k/library/>

.....

(図書館メール News のバックナンバーはこちらから↓)

<http://www.kpu-m.ac.jp/k/library/websevice/mailnews.html>